



今年は比較的静かな年明けを迎えました。地元の神社も例年よりも人出が少なかったようです。私はもう少し落ち着いてから、のんびりお参りしようかと思っておりますが、お札を返していないのが何とも気になります。長年の習慣は崩すと変な感じですね。ただ、マスクをする生活にもすっかり慣れて、必要最小限の生活行動をする日々が10カ月も続いている中で、上手に適応していかないといけないと考えているこの頃です。

今年は東日本大震災から10年経ちます。津波で車が押し流されて行く光景は、まるで映画のワンシーンのように衝撃的でした。津波の損害は「地震保険」で補償されますが、今年1月より、地震保険が少し変更されました。



## 「火事なのに火災保険が使えない！何故？」

火災保険をご契約いただいても、地震が発生した後に自宅が燃えた場合、火災保険では地震が原因の火災は補償していない為、火災保険だけでは保険金は支払われません。



\*地震が原因で火災が発生する場合は、一度に多数の火災が発生する事、道路の寸断等により消防の能力が低下する事など、通常の火災保険では想定していない事態が発生する為、火災保険の補償対象から外して、政府の補償がある「地震保険」で対応する事となっております。

その為、火事であっても原因が「地震や噴火、津波」によるものは、地震保険での補償となりますので、地震保険は建物の倒壊補償だけでは無いのです。

## 地震保険は3年連続、3回目の変更です

東日本大震災より、保険会社や研究者等が「地震保険」の料金を決める元となる各種データや地震震源モデルを再考した結果、全国的に大幅な値上げが必要との判断、2018年より3回に分けて料金と制度の変更を行ってきました。2021年1月の変更は3回で行う変更の最後の年になります。

◆主な変更点は、掛け金（保険料）に係る部分ですが、関東より北の方で大幅な値上げ。

◆東海三県は、愛知県と三重県が大きく値下げ、岐阜県は気持ちの値下げとなりました。

しかし、長期でお支払い頂く場合の割引が低金利の影響でダウンしており値上げとなります。

実際は、火災保険が1月より値上げになっているので、セットで付ける地震保険料が値下げでも、実際には値上げになっていることもあり、ケースバイケースです。

また、南海トラフ沖地震の想定はこれからとなっており、東海地方は将来に再度の値上げも予想されております。これを機に「火災保険」「地震保険」の点検を忘れずに。



## メンバー 近況報告

### 瀬戸キラキラ大作戦！

岩瀬 英之

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で「せともの祭」や「せと陶祖まつり」などイベントや学校行事など自粛や縮小での開催になってしまいました。その中、瀬戸を少しでも盛り上げようという趣旨で、瀬戸商工会議所青年部で「瀬戸キラキラ大作戦」企画したので、お手伝いとして参加しました。10月～12月に希望があった小学校へ訪問し、6年生が茶碗に絵を描き、それを焼いた後に集めて体育館に並べライトアップし、花火のようにしようというものです。私自身は、下品野小学校へ訪問してきました。

自分が小学生の時に美術の成績がずっと「2」だったので、6年生のどの子も絵や模様、字などがしっかりと書けていた事に感心してしまいました（笑）また、久しぶりの小学生との交流は、とても新鮮な経験でしたし、パワーを貰いました。焼きあがった茶碗は、2月11日に瀬戸市内の小学校体育館をお借りして、全部並べてライトアップする予定になっています。もう少し先になりますが、どんな形になるのかとても楽しみです。

新型コロナウイルスの感染者数が増えていますので、感染予防をしっかりと今年1年も頑張っていきたいと思います。



### 渋沢栄一を知って

小川 とも子

最近、テレビ等で渋沢栄一の名前がよく出てきますが、実際は何をした人かわかりませんでした。偶然にも先日、テレビで渋沢栄一と岩崎弥太郎、そして福沢諭吉を取り上げた番組を見てすごい人だなと思いました。渋沢栄一は1840年(天保11年)現在の埼玉県深谷市の農家で生まれ、小さい頃から家業の藍玉(藍染の素)や養蚕の手伝いをし、7歳から論語を学んでいました。ある時、身分の違いから反骨精神が覚め、その後倒幕を試みましたが中止となり、京都の一橋家(徳川)慶喜に仕えそこで実力を発揮し、パリ万博博覧会に同行して、西洋の実情に触れ帰国後に日本最初の合本(株式)組織を設立し、明治政府では大蔵省に入り、大蔵省を辞めた後は民間経済人として株式会社組織による企業の創設や育成に力を注ぎ、企業500社、社会公共事業約600を設立します。それ由に「資本主義の父」「銀行の神様」と言われるようになったそうです。

渋谷のすごいところは、経済と道徳は反するものではなく、皆が豊かにならなければならない(論語精神)と企業のあるべき姿を示しているところです。2月からNHK「青天を衝け」で渋谷の92年の波瀾万丈の人生を描く様です。また、新1万円札の顔として登場するそうです。



### 長引く自粛生活

年末年始もコロナ感染拡大により、自粛生活が必要と言われていましたが、どの様に過ごしていましたか？我が家も人混みに出ないよう心掛けていましたし、ニュースなどでも神社や街中の人々が減っていると報道されていますが、新規感染者数や重傷者数は毎日のように「過去最大」を更新しているように思います。なぜでしょう？「自粛生活」と言われることに変な慣れが出てきている？？ただ、飲食店の営業時間短縮や各種GO TO事業の停止などで、観光業や飲食業は大変な状態が続いている事、医療従事者や関係者の精神的な負荷も大きな問題となっています。この状態が続くと大変な思いをする人が、今以上に増えていきます。それに加え、先の見えない戦いにより経済活動の停滞が懸念され、東証の大発会でも一時400円を超えた下げ幅となり、年始から明るいニュースが無く、暗いニュースが多いですね。先日、お坊さんの説法で、長引く自粛生活や先行きの不安から怒りのコントロールが出来ない人が増え、「アンガーマネジメント」講座が人気になっている、あおり運転の増加もその一つではないかとおっしゃっていました。「怒り」の感情がでてきたら、自分の好きな事を6秒考えるとその間に「怒り」の感情が収まるそうです。好きな事や楽しい未来を考え、もう少し厳しい自粛生活を送り、早く以前の生活が戻るように頑張りましょう！！

小川 真紀

